



演者

東京大学大学院医学系研究科  
社会連携講座イメージング看護学・特任准教授  
グローバルナーシングリサーチセンター 特任准教授兼任

玉井 奈緒 先生

## ▶ 乳癌患者のスカルプケアから考える 「我慢させない療養生活」とは

我々の研究室が行ったこれまでの研究によると、抗がん剤治療中に生じる脱毛によって、患者は心理的なダメージだけでなく、頭皮の生理機能の変化や痒み・痛みなどの症状に悩まされていた。さらに、敏感な頭皮にウィッグを着用することで、頭皮の紅斑や糜爛などの皮膚障害を生じ、ウィッグ着用が難しくなるケースもみられた。そこで我々は肌に優しい素材を使用した医療用ウィッグの効果検証をおこない、頭皮の皮膚障害を軽減できることを明らかにしてきた。今回の講演では、これまでの研究や患者へのインタビューから抗がん剤治療中の患者が使用する医療用ウィッグに残された課題を明確にし、看・理・工学の融合による「我慢させない療養生活」の実現に向けて考える機会としたい。

### 略 歴

2001年3月	金沢大学医学部保健学科卒業	看護学専攻 老年看護学分野 助教
2003年3月	金沢大学大学院医学系研究科 保健学専攻 修士課程修了(修士・保健学)	2017年2月 東京大学大学院 医学系研究科社会連携講座 スキンケアサイエンス 特任講師
2003年4月	(財)聖路加国際病院 外科病棟勤務	2019年4月 東京大学大学院 医学系研究科社会連携講座 イメージング看護学 特任准教授
2012年3月	東京大学大学院 医学系研究科健康科学・ 看護学専攻 博士課程修了(博士・保健学)	現在に至る
2012年4月	東京大学大学院 医学系研究科 ライフサポート技術開発学(モルテン)寄付講座 特任助教	【主な学会】 看護理工学会(評議員)、日本創傷・オストミー・失禁管理学会(評議員)、日本褥瘡学会(会員)、日本看護科学学会(会員)、日本創傷 治癒学会(会員)、日本乳癌学会(会員)
2012年12月	東京大学大学院 医学系研究科健康科学・	

MEMO

# 第7回 看護理工学会学術集会

「医・看・工 融合が医療を変える」

■合同開催：第58回日本生体医工学会大会

ランチオンセミナーⅠ

## 「看護理工学の視点から 考えるスカルプケアの未来」

日時 2019年6月7日(金) 11:30~12:55

会場 沖縄コンベンションセンター B5/B6 会場

座長

東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻  
老年看護学/創傷看護学分野 教授、博士(医学)  
東京大学大学院 医学系研究科附属  
グローバルナーシングリサーチセンター センター長

真田 弘美 先生

演者

## スカルプケアサイエンス：頭皮を守り、 不快感を除去する頭皮ケア

東京大学大学院医学系研究科  
社会連携講座スキンケアサイエンス 特任准教授  
グローバルナーシングリサーチセンター 特任准教授兼任

峰松 健夫 先生

演者

## 乳癌患者のスカルプケアから考える 「我慢させない療養生活」とは

東京大学大学院医学系研究科  
社会連携講座イメージング看護学・特任准教授  
グローバルナーシングリサーチセンター 特任准教授兼任

玉井 奈緒 先生





座長

東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻  
老年看護学／創傷看護学分野 教授、博士(医学)  
東京大学大学院 医学系研究科附属  
グローバルナースングリサーチセンター センター長

真田 弘美 先生



演者

東京大学大学院医学系研究科  
社会連携講座スキンケアサイエンス 特任准教授  
グローバルナースングリサーチセンター 特任准教授兼任

峰松 健夫 先生

略歴

1979年	聖路加看護大学卒業	2011-2012年専攻長。2015-2016年学科長。2017年より東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナースングリサーチセンター センター長兼任。1999年よりWOC看護認定看護師(現皮膚・排泄ケア認定看護師)。看護理工学会、国際リンパ浮腫フレームワーク・ジャパン研究協議会の理事長、日本看護科学学会、日本老年看護学会、日本創傷治療学会、日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会などの理事、日本褥瘡学会、日本創傷・オストミー・失禁管理学会の前理事長・現監事
1987年	クリーブランドクリニック聖路加分校 ETスクール修了	
1989-90年	イリノイ大学大学院看護学部にて研修	
1987-97年	金沢大学医学部研究生 博士(医学)	
1998年	金沢大学医学部保健学科教授	
2003年	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学分野教授、2006年より現職	

MEMO

## ▶ スカルプケアサイエンス:頭皮を守り、不快感を除去する頭皮ケア

皮膚付属器は、皮膚のインテグリティを維持するために欠かすことのできない皮膚の一部である。毛包から伸びる体毛が皮膚の表面を機械的刺激から保護しているのみならず、スパイクの爪のように表皮から連続して皮下組織に伸びる毛包は皮膚の外力耐性に寄与している。また、毛包に開孔する脂腺から体毛に沿って皮膚表面に供給される皮脂は、皮膚バリア機能の重要な構成要素である。従って、豊富な体毛を有する頭皮は、皮膚の中でも他の部位とは異なる特殊な機関であると考えられる。私たちは、これまで脱毛症などの頭皮の異常に伴う皮膚バリア機能、痛みや痒みなどの不快感に着目し、これらの改善を目的とした研究をスカルプケアサイエンスとして取り組んできた。本講演では、頭皮の構造や生理機能などのスカルプケアサイエンスの基礎、およびスカルプケアサイエンス研究の意義などについて解説する。

略歴

1995年	筑波大学第二学群農林学類(生物資源学類)卒業	【受賞】
2004年	筑波大学大学院博士課程農学研究科 修了(博士(農学))	第43回日本創傷治療学会学術集会 研究奨励賞 「Acylated Homoserine Lactoneの投与によるマウス皮膚組織の遺伝子発現の変化」
2004年	東海大学医学部 基盤診療学系病理診断学 特別奨励研究員	平成24年度日本褥瘡学会大浦賞 「癌性創傷が疑われる非定型的褥瘡の創面プロットング法を用いたアセスメント」日本褥瘡学会誌, 16: 154-158, 2014.
2006年	独立行政法人農業生物資源研究所 遺伝子組換え家畜研究センター 特別研究員	4th Congress of the World Union of Wound Healing Societies. Poster Award. Application of wound blotting method for assessment of pressure ulcers: case reports.
2007年	株式会社バイオマスター 研究開発部 研究員	Australian Wound Management Association National Conference 2014, Rye Pharmaceuticals New Investigator Award (Science & Technology). Skin blotting: A novel technique to assess physiological skin conditions.
2008年	東京大学大学院医学系研究科 老年看護学分野 助教	平成22年度日本褥瘡学会大塚賞(大塚Grant)「創面タンパク質の局在の解析法の開発」
2009年	東京大学大学院医学系研究科 アドバンススキンケア(ミスバリ)寄附講座 特任助教	など
2011年	東京大学大学院医学系研究科 創傷看護学分野 特任講師	
2017年	東京大学大学院医学系研究科 社会連携講座 スキンケアサイエンス 特任准教授(～現在)	
【学会活動】		
日本創傷治療学会(評議員)、看護理工学会(評議員)、日本創傷・オストミー・失禁管理学会(評議員)、日本褥瘡学会、日本病理学会、日本臨床毛髪学会など		